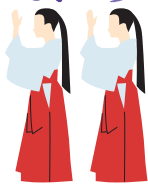




多神社の拝殿。奥の覆い屋根は修理中の本殿―田原本町で

# やまとの 神さま



## 多神社

(田原本町)

(住所) 田原本町多569

(祭神) 神武天皇、神八井耳命、綾靖天皇、玉依姫

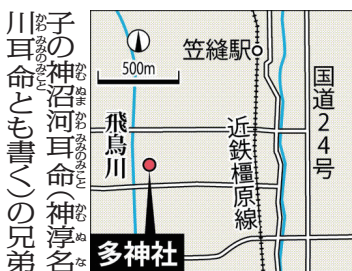
(交通) 近鉄笠縫駅から徒歩約20分

(拝観) 境内自由。資料館見学は4人以上で事前予約が必要。

(駐車場) あり

(電話) 0744・33・2155

多神社は、古代豪族「多氏」の本拠地だった田原本町多に鎮座しています。正式名は「多坐弥志理都比古神社」。延喜式神名帳に記載され、かつて社域は約650㍻四方もあったと伝わります。古事記によると、神武天皇の崩御後、第2皇子の神八井耳命と第3皇子の神沼河耳命(神淳名川耳命とも書く)の兄弟



が義兄の当芸志美々と争って勝ち、兄は敵を殺した弟に皇位を譲り、弟は綾靖天皇として即位しました。その後、兄がこの地に隠棲したことが神社の始まりで、神八井耳命が多氏の祖とされます。社名の「弥志理都比古」は神

八井耳命の別名と言われ、「身を退く」との意味だとする説もあります。東西に4棟並ぶ本殿は、それぞれが江戸時代中ごろに建てられた一間社春日造り(正面の柱間が一つで、棟と直角な面に入り口がある様式)で、県指定文化財です。境内に古事記の編者、

太安万侶などに関する資料館があります。平安時代の「多神宮注進状」によると、太安万侶も多氏一族で、自分の代で姓を「多」から「太」に改めました。後に子孫が「多」に戻したそうです。太安万侶の墓は1979年、奈良市此瀬町で発見されましたが、それまで墓だと伝えられた塚が神社の東南にあります。(奈良まほろばソムリエの会員 藤永泰雄)

# 神武天皇の皇子ゆかり

(奈良まほろばソムリエの会員 藤永泰雄)